

新病院（いわき市医療センター）の機能紹介③

新病院（いわき市医療センター）におきましては、平成 29 年 2 月に策定した「医療機器等整備計画」に基づく各種医療機器等の整備に加え、現病院からの移設により、先進的な医療環境の整備を図ることとしております。今回は、その主なものを紹介します。

【画像診断装置】

SPECT/CTの新規導入やハイブリッド血管撮影装置の補充に加え、CT撮影装置や磁気共鳴診断装置（MRI）、血管撮影装置の更新にあわせた機器の高性能化などにより、画像診断機能等が向上します。

① SPECT/CT

SPECT/CTの新規導入により、体内に注入したRI（放射性同位元素）の分布状況を可視化するRI画像とCT画像を重ね合わせた、より鮮明な画像が一度の検査で得られ、がんや脳血管疾患などの病変の検査において、精度の高い画像診断が可能となります。

② ハイブリッド血管撮影装置

当院では、平成 25 年 5 月にハイブリッド手術室を設置し、胸部・腹部大動脈へのステント留置術や経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）などの先端医療に積極的に取り組んできましたが、新病院では、ハイブリッド血管撮影装置を増設し、ハイブリッド手術室を 2 室とすることで、外科的手術と血管内治療の併用を伴う高度な手術を、より安全に実施できる環境を整えます。



ハイブリッド血管撮影装置

③ CT撮影装置

現病院では、1回転のスキャンで脳や心臓などの臓器全体を3D画像として抽出でき、検査時間の短い320列CT撮影装置を1台設置しており、利用が多く、検査の順番待ちが発生している現状にあることから、新病院では、一部機器の更新（3台）にあわせて、320列CT撮影装置を1台増設します。

これにより、画像の高画質化と患者さんの検査待ち時間の短縮が可能となります。



320列CT撮影装置

【現病院】320列CT:1台、64列CT:2台、16列CT:1台 ⇒ 【新病院】320列CT:2台、80列CT:2台

④ 磁気共鳴画像診断装置（MRI）

機器の更新（1台）にあわせて、磁場強度が3テスラの撮影機器を導入することにより、従来では見つけられなかった小さな病変の発見などの画像診断機能が向上するとともに、撮影時間の短縮により、患者さんの負担軽減が図られることとなります。



磁気共鳴画像診断装置

【現病院】1.5テスラMRI:2台 ⇒ 【新病院】3.0テスラMRI:1台、1.5テスラMRI:1台

【放射線治療装置】

放射線治療機器は、早期がんから進行がん、再発・転移したがんの、「根治的治療」から「緩和的治療」など幅広い治療に用いられており、新病院では、機器の更新に伴い、IMRT（強度変調放射線治療）機能を新たに導入し、前立腺がんや咽頭がんなど、複雑ながん治療への対応を強化するほか、専用の位置決め装置の新規導入による、より高精度の照射により、正常な細胞の損傷を低減するなど、患者さんの負担軽減を図るとともに、質の高いがん治療が可能となります。



放射線治療装置

【高気圧酸素治療装置】

高気圧酸素治療機器は、高気圧環境下で高濃度の酸素を吸入させることにより、一酸化炭素中毒や腸閉塞などの病態の改善を図る装置ですが、新病院では、現在の1人用から複数人用へと更新し、災害や交通事故等を含む急性期医療の機能強化を図ります。

【その他機器】

このほか、患者さんの利便性向上や病院スタッフの業務効率化を図るための機器等を整備します。

① 外来診察案内システム

新病院では、診察の順番を院内各所に設置したモニターに表示するシステムを新たに導入します。

これにより、待ち状況が可視化されるとともに、番号による呼び出し方式へと変更することにより、患者さんのプライバシーが確保されるなど、患者さんの利便性向上を図ります。

② 注射薬自動払出し装置

現在、手作業で行っている入院患者さんの注射薬の準備を自動化する装置を新たに2台導入し、薬剤師が服薬指導などの病棟業務にも専念できる環境整備を行います。

③ 給食用厨房機器

新病院では、患者用給食の調理システムをクックチル方式へと変更し、これに対応した厨房機器を導入します。

クックチル方式は、給食の調理後にチルド保存し、必要時に最終加熱をして提供するものであり、計画的・効率的な調理工程の構築に加え、提供メニューの充実などにより食事の品質向上が図られるほか、災害時の食事提供の安定化や衛生管理面での機能向上が図られます。